

# ステークホルダーとの関わり



お客様との関わり	P 52-53
取引先様との関わり	P 54
株主・投資家の皆様との関わり	P 55
従業員との関わり	P 56-58
地域社会との関わり	P 59-60

# お客様との関わり

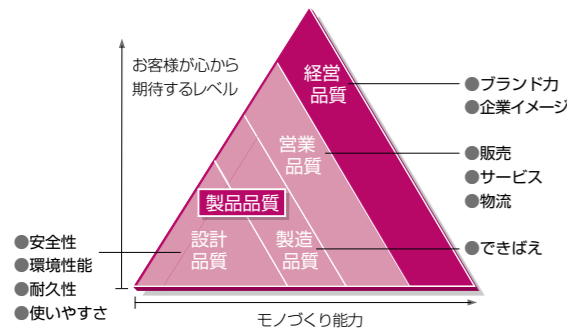
「品質第一」に徹し、お客様ニーズの変化・多様性に迅速に対応できるモノづくりを徹底しています。

## 「営業的試験を為し、その成績充分にあらざる間は、決して販売すべきものに非ず」

当社は、社祖・豊田佐吉の遺訓の精神を受け継ぎ、品質こそ会社の生命線と考えています。品質第一に徹して、お客様の安全と安心を保証することが、お客様に対する最も重要な責任であり、当社CSRの基本です。

当社では、安全性や環境性能、耐久性、使いやすさ、できればなどの「製品品質」はもとより、販売やサービスを加えた「営業品質」、さらにブランド力や企業イメージなどを加えた「経営品質」に至るまで、企業活動全体のあらゆる「品質」の維持・向上をはかっています。

### ■ 当社が追求している品質のイメージ



## 「お客様への感謝の気持ちを、最高の品質でお伝えしよう」(当社品質指針より)

当社は、「お客様第一」を最優先に、お客様の期待にお応えする商品開発を行っています。

新商品開発では、商品企画から設計、生産準備、生産、販売・サービスに至るすべてのステップにおいて、品質をつくり込むための具体的な実施事項を定めています。その上で、目標とする品質レベルに達していることを事業部長が審査し、次のステップへの移行を承認するしくみであるデザインレビュー (DR)を実施しています。

万一、商品の発売後に不具合が発生した場合は、各事業部の品質保証部門が中心となり、必要な対策を速やかに講じる

とともに、技術としくみの両面から発生原因を洗い出し、必要に応じて、新商品開発のしくみも見直すことで、次期モデルでの徹底的な再発防止に努めています。

## 品質指針に基づいた品質保証活動を実施

当社は、2020年ビジョン達成に向け、基盤となるべき品質に対する取り組みの理念として、「2020年品質ビジョン」を設定しました。

### 2020年品質ビジョン

豊田自動織機グループ全員が品質第一にこだわりぬき、世界各地のお客様のニーズを先取りして、魅力的な商品・サービスを継続的に提供する

このビジョンの実現に向け、年度の重点実施事項を明確にした「品質指針」を国内外の全生産拠点に展開しています。「品質指針」の実施状況については、経営トップが品質機能会議(議長:生技・生産本部長\*)と品質確認・未然防止会議(議長:生技・生産本部長\*)で確認し、課題を抽出した上で、対策を検討しています。これらの課題は、全社品質保証部門長会議(議長:品質管理部部長\*)でフォローしています。また、社長による現地・現物の現場点検を行い、これらの活動の成果を確認しています。

\*: 2015年3月31日現在



経営トップによる品質点検

重要な品質問題については、再発防止を徹底するだけでなく、他部門の未然防止につなげるため、品質保証レベルを確保するための実施事項を標準化し、ガイドラインを制定するなど、全社横断の活動を行っています。

### ■ 全社横断の品質保証活動



## 製品安全への取り組み

お客様の安全・安心に関する期待にお応えするため、開発・設計段階で、予見可能な誤使用や故障状態での使用など、お客様のさまざまな使い方を想定したリスクの低減活動を強化しています。

各事業部の技術部門と品質保証部門の代表者で構成する製品安全推進委員会で、各事業部における優れた活動の共有などを通して、全社の活動のレベル向上に取り組んでいます。

特に近年は、自動車などに搭載される電子制御システムの高度化・複雑化に伴い、システムがおよぼす危害のリスクを、機能や装置の導入で許容可能なレベルに低減する「機能安全」が一層重要になってきています。

当社では、ソフトウェア開発力の強化の一環として、機能安全の取り組み強化もはかっており、これまでの外部規格の認証に続き、自動車向け機能安全国際規格ISO26262のソフトウェア開発プロセス認証を取得しました。これにより、当社の車載システムのソフトウェア開発プロセスが、本規格における最高の安全度水準まで対応可能と認められました。

### ■ ソフトウェア開発プロセス認証取得状況

2012年7月	Automotive SPICE*1 能力レベル3 カーエアコン用コンプレッサー事業分野
2014年3月	Automotive SPICE 能力レベル3 車載電気・電子システム事業分野
2014年12月	ISO26262 最高安全水準度ASIL*2-D ソフトウェア開発プロセス認証(機能安全)

\*1: Software Process Improvement and Capability dTerminationの略。車載ソフトウェア開発の標準プロセス。  
\*2: Automotive Safety Integrity Levelの略。

## 取引先への取り組み

商品の品質向上には、国内外の取引先と一体になった品質向上活動が不可欠であることから、主要取引先と合同で品質保証活動の強化に取り組んでおり、年1回の品質監査により弱点を明確にして効果的に改善する活動や品質教育を実施しています。

また、活動の成果については、当社役員が現地・現物の現場点検を行うことで、確認しています。

これらの活動を通じて、取引先は品質保証レベルを確保するとともに、自ら品質保証活動を進化させ続ける風土を築いています。

## 人材育成への取り組み

当社では、全従業員を対象に、実務で必要とされる品質保証スキルを身につけるため、体系化された品質教育を実施しています。基礎教育では、当社の品質保証を解説したオリジナルテキストを使って、QC的ものの見方・考え方から基本的な改善手法、改善の進め方までを習得します。基礎教育修了後は、職場のニーズに合わせた実践的な研修を実施しています。

また、北米・欧州に加え、中国やインドの生産拠点でも、QCサークル活動による改善活動と人材育成に取り組んでいます。

モノづくりは人づくりの考え方のもと、品質保証の基盤強化に取り組んでいます。



キロスカトヨタ テキスタイル マシナリー(株) (KITM/インド)でのQCサークル活動

# 取引先様との関わり

開かれた調達や、取引先様(サプライヤー)との相互信頼に基づく共存・共栄の実現とともに、グリーン調達、CSR調達、震災を想定した防災活動を推進しています。

## オープンドアポリシーに基づく公正な取引

当社は、「開かれた調達」を実現するため、すべての企業に公正かつ公平な参入機会を提供しています。

サプライヤーの選定にあたっては、品質、価格、納期

などはもちろんのこと、安全、環境、コンプライアンスへの対応などを総合的に評価し、公正な取引引きのもと、良いものを安くタイムリーかつ安定的に調達することに努めています。



当社ホームページ「調達活動」

## 相互信頼に基づく共存・共栄

当社は、サプライヤーとの相互信頼に基づく共存・共栄をはかるため、主要サプライヤーに対して調達方針説明会、品質管理や技術・技能に関する研修、生産現場の工程改善指導などを年間を通して実施しています。

## グリーン調達の推進による環境負荷の低減

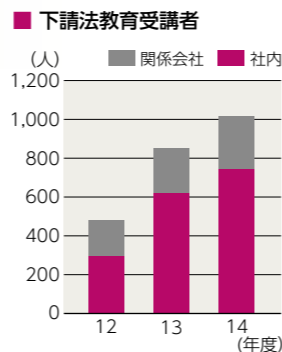
当社は、環境負荷の少ない商品づくりのため、環境配慮に取り組むサプライヤーから優先的に部品・原材料・設備などを調達しています。

グリーン調達実施のために策定している「グリーン調達ガイドライン」では、部品・原材料・設備だけでなく、梱包資材も対象としています。

環境に優しい商品を提供することで、お客様に安全・安心に利用いただいています。

## 良き企業市民をめざした現地化の推進

海外における現地生産の拡大に伴い、地元の良き企業市民として地域社会に貢献できるよう、現地の連結子会社と連携して、現地サプライヤーからの調達拡大に取り組んでいます。



## 人材育成の取り組み

当社は、調達に関する知識向上のための教育を、社内外で積極的に行っています。2014年度は、社内向け教育に735人、関係会社向け教育に276人が参加しました。また、コンプライアンス違反を防止するため、調達に関わる部署に対し、定期的に点検も行っています。

当社の協力会である豊永会では、各社がより有効な情報を共有できるよう、TPS活動やQCサークル活動などを通じた「人財育成の場」を設けています。当社は、TPS活動に関する座学教育や、リーダー養成を目的とした自主研活動を支援しています。



豊永会QCサークル大会



自主研活動

## 震災を想定したBCP(事業継続計画)活動

当社では、日本における大規模地震を想定してBCP活動に取り組んでおり、生産復旧の分野では、お客様への商品の供給を一日でも早く再開できるよう、サプライヤーと協力して、部品・材料の安定供給のための活動を進めています。

具体的な取り組みとして、防災の重要性に対する理解を深めるための講演会の開催、減災計画の策定や実行に役立つ減災ワークショップ(机上演習)などの実施に加え、被災状況把握訓練を新たに実施しました。



減災ワークショップ

### BCP活動の経過

項目	2012年度	2013年度	2014年度
活動方針	現状把握	減災強化	
活動範囲		豊永会(協力会社)	重要部品生産サプライヤー
実施内容	サプライチェーン調査	定期調査による精度向上	
	震災ワークショップ	机上演習の実施	
	減災計画	策定・集約	
	被災状況把握訓練	定期訓練	

# 株主・投資家の皆様との関わり

適時・適切な情報開示により、株式市場で適切な企業評価を得られるように努めるとともに、株主・投資家の皆様との良好なコミュニケーションを築いています。



会社主催の車両組立工場見学会 (2014年12月実施)

## 基本的な考え方

当社は、株主・投資家の皆様に、適時・適切な情報開示を継続的に行い、経営の透明性を高めることによって、株式市場において適切な企業評価を得られるよう努めています。開示に関する法令や規則に定められた情報の開示だけでなく、経営方針や事業内容についての情報も積極的に開示しています。また、株主・投資家の皆様との建設的な対話を促進するために、さまざまなIR活動を展開しており、コミュニケーションを通じて得たご意見などを、役員や各事業部へフィードバックし、事業活動に反映するよう努めています。

## 定時株主総会の開催

当社は、多くの株主の皆様へ定時株主総会へご参加いただくため、集中日を避けて早い時期に開催しています。また、インターネットによる議決権行使の採用、機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームへの参加など、株主の議決権行使を円滑にするための取り組みを進めています。

2014年6月13日に開催した第136回定時株主総会には、348人にご参加いただきました。総会終了後には、株主の皆様へ当社の事業活動への理解を深めていただくことを目的として、フォークリフト工場の見学会を実施しました。

### 参加人数

	第132回	第133回	第134回	第135回	第136回
株主総会	299	320	363	396	348
工場見学会	90	112	132	185	144

## IR活動の展開

四半期ごとの決算期には、機関投資家・証券アナリスト向けに、経営層による説明会を行っており、業績ならびに各事業の進捗状況や今後の取り組み方針などについての報告を実施しています。その他、個別取材対応や機関投資家への訪問に加えて、会社主催の工場見学会(車両組立工場、カーエアコン用コンプレッサー工場など)も開催し、モノづくりに対する考え方や製

造現場での取り組みの説明などを通して、当社に対する理解を深めていただいています。海外機関投資家については、当社とのミーティングのご要望が高まっていることに対応し、投資家を訪問して経営方針や事業概要の説明を行うとともに、証券会社主催の国内でのカンファレンスに参加し、個別ミーティングなどを実施しています。また、新たに個人投資家向けの会社説明会を実施し、当社の事業内容や経営方針などについての理解を深めていただく取り組みを進めています。

一方、ウェブサイトでは、財務情報をはじめ事業の概要や取り組み内容など、さまざまな情報提供を行っています。さらに、最新情報をタイムリーにお知らせするRSS配信を行っています。

### 主なIR活動の内容

国内機関投資家・証券アナリスト向け
・四半期ごとの決算説明会 ・個別取材、個別訪問 ・スモールミーティング ・電話会議 ・会社主催の工場見学会 ・豊田自動織機レポートの発行、送付
海外機関投資家向け
・個別取材、個別訪問 ・電話会議 ・証券会社主催のカンファレンスへの参加 ・豊田自動織機レポートの発行、送付
個人株主・個人投資家向け
・会社説明会 ・会社主催の工場見学会 ・株主総会招集ご通知の発行、送付 ・事業報告書の発行、送付

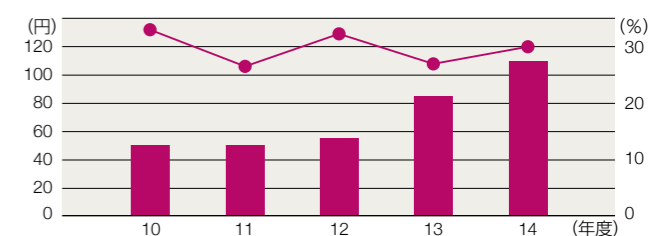
## 株主還元の方針

当社は、株主の皆様を利益を経営の重要方針として位置づけています。

配当金については、継続的に配当を行うよう努めるとともに、業績、資金需要および連結配当性向を勘案し、株主の皆様のご期待にお応えしていきたいと考えています。

この方針のもと、2014年度の配当金については、110円(中間50円、期末60円)とさせていただきます。

### 1株当たり配当金(年間)と連結配当性向



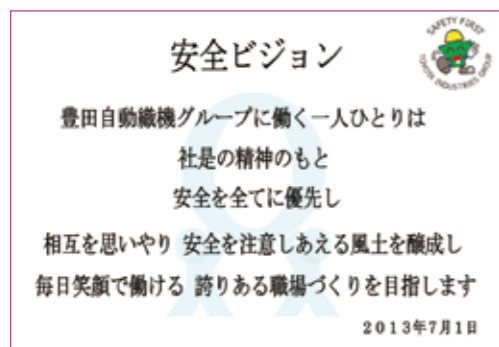
# 従業員との関わり

誰もが安全・安心に働ける職場づくりを第一に、一人ひとりの従業員が多様な能力を発揮し、いきいきと働くことができる職場であることを最大の目標としています。

## 災害ゼロをめざした当社グループの安全文化の構築

当社は「安全と健康を自ら実践する人間づくり」を基本に、労働災害および職業性疾病の発生防止と良好な作業環境をめざした活動を推進しています。

2013年度に、社是の「温情友愛の精神」の考え方に基づき、「安全の拠りどころ」「めざすべき姿」を明確にした「安全ビジョン」を策定しました。その後、安全文化の構築に向け、「安全ビジョン」を当社グループへ浸透させる活動を進めてきました。そして、2014年9月に、中国拠点の経営トップおよび安全衛生スタッフなどを対象に安全ワークショップを実施し、国内外の当社グループへの展開を完了しました。



中国拠点の安全ワークショップ

安全文化を定着させ一層強固なものにするためには、管理・監督者のリーダーシップや高い意識が不可欠となります。そのため、2014年度には、管理・監督者全員を対象に安全ビ

ジョンの理解とともに、労働災害ゼロの意味や、克服すべき課題、心得などについて自らの気づきを促すことをねらいとした教育を開始しました。2015年度には対象者全員の教育を終了し、新任の管理・監督者向けの教育体制も構築するなど、継続的に安全意識の向上をはかっていきます。



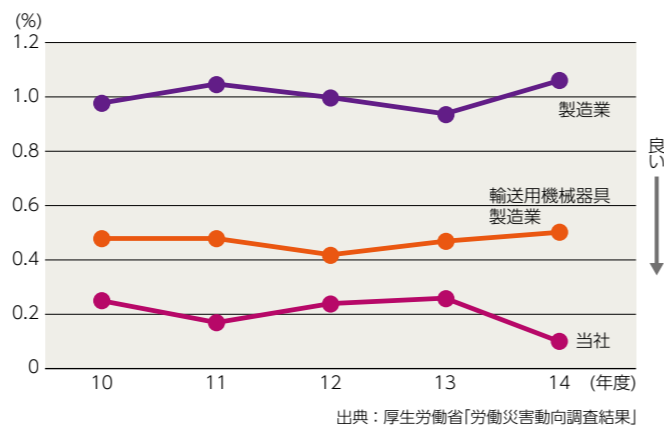
管理・監督者ワークショップ

安全文化づくりのための基本的な活動として、工場敷地内通路での指差呼称や、相互啓発をねらいとした声掛けなども行っています。こうした愚直な活動を継続することが、不幸な災害を防止する基盤になると考えています。

また、2014年度には、安全教育のeラーニング教材を製作し、職場でのミーティングで活用することで、安全衛生のレベル向上に努めました。

こうしたさまざまな取り組みを着実に進めてきた結果、2014年度の休業度数率は対前年度比で一定の効果がでており、さらなる安全文化の定着に向け、取り組みを継続していきます。

### 休業度数率推移



## 健康管理・健康づくりの取り組み

当社は、「高齢化やストレス増大などのリスクに対応した健康づくり運動の推進」を中期的な課題とし、従業員の健康づくり活動を推進しています。

健康診断後のフォローを充実させ、メタボリック症候群の予防に向けた生活習慣病の改善指導を積極的に行っています。また、従業員全員を対象とした定期的な年代別健康教育を実施し、個人の健康保持・健康増進に努めています。

2014年度は、年代別健康教育に、生活習慣病予防に重点を置いたトライコースを導入しました。また、国で定められた特定保健指導に加えて、40歳未満の若年層への健康指導を開始し、早い段階での生活習慣改善に取り組みました。

メンタルヘルス予防活動においては、健康に関する相談窓口を設け、早期に相談できる体制を整えています。また、セルフケア・ラインケア教育の充実をはかり、新規発症の予防に努めるとともに、長期休職者への復職支援プログラムの運用により再発防止に努め、一定の成果をあげています。



年代別健康教育での体力測定

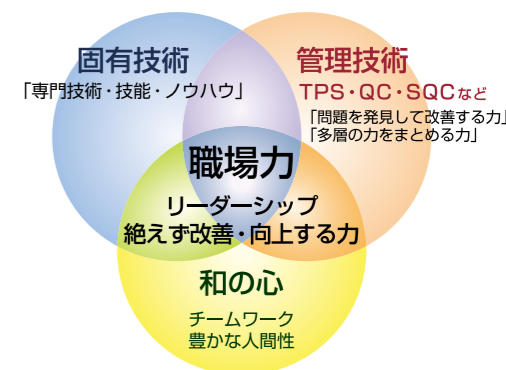
### 2014年度の主な健康づくり活動

年代別健康教育受講者	【1,654人】
生活習慣病予防指導終了者	【507人】
禁煙啓発イベント	
・世界禁煙デー 一日禁煙(5/31)	
・スワンスワンの日 半日禁煙(3日間)	
禁煙キャンペーン参加者(健康保険組合と協業)	【46人】
ウォーキングイベント参加者(健康保険組合と協業)	【1,619人】

## 「職場力」の強化

一人ひとりがいきいきと働き、会社が継続的に発展していくためには、その源泉となる「職場力」の強化が大切であると、当社は考えています。

「職場力」は、モノづくりの原点である「固有技術」とそれを最大限活用する「管理技術」、そしてそれらを支える「和の心」が重なり合って成り立ちます。「職場力」をさらに強化するとともに、事業や世代、地域を越えて、これを伝承・伝播していきます。



### 「固有技術」

モノづくりを支える技能については、研修施設の一つ「技術技能ラーニングセンター」を中心に、技能専修学園での基礎技能習得、社内技能競技会での若手技能者のレベル向上に加えて、技能五輪への挑戦を通じた高度技能者の育成に取り組んでいます。

2014年に開催された第52回技能五輪全国大会\*では、「電気溶接」職種で金メダルを獲得、また、それ以外の各職種でも入賞しており、14大会連続でメダルを獲得しています。

\*：青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会。



第52回技能五輪全国大会(電気溶接)

### 技能五輪全国大会でのメダル獲得数

	2012年度	2013年度	2014年度
金メダル	—	1	1
銀メダル	1	2	3
銅メダル	4	3	1
計	5	6	5

# 地域社会との関わり

豊かで健全な社会の実現とその持続的発展のために、事業活動を行うあらゆる地域において、「良き企業市民」としての役割を果たし、積極的に社会貢献活動を行います。

## 良き企業市民として

当社は、基本理念の一つに「社会貢献」を掲げ、事業活動を行うあらゆる地域において「良き企業市民」としての役割を果たし、豊かで健全な社会の実現をめざして積極的な社会貢献活動を推進しています。「社会福祉」「青少年育成」「環境保全」「地域貢献」を重点分野とし、人材、施設、資金、ノウハウなどの提供による協力や支援を行うとともに、活動を通じた参加者とのふれあいを大切にしています。また従業員一人ひとりが社会とのつながりを意識し、社会貢献への関心を高めるため、社内でのボランティア情報の共有や全従業員を対象にボランティア活動の場を提供するなどの啓発活動を行っています。職制会\*による活動についても、福祉施設の支援や自然保護活動などを中心に、活発な取り組みを行っており、さまざまな活動を通して地域での貢献活動に努めています。

\*：会社の職位別に組織されている自主組織。

## 社会貢献活動の推進体制

CSR委員会において、社会貢献活動のあり方などを審議

し、本社総務部の社会貢献グループが中心となって活動に取り組んでいます。

### ■ 当社およびグループ会社が行っている主な社会貢献活動

分野	実施事項
社会福祉	障がい者との交流イベント(潮干狩り、収穫祭など) 福祉施設の支援(バザー活動支援、施設の清掃・修繕・除草など) グループ会社との協業による全社一斉募金活動 障がい者用車椅子の寄贈(中国) P.60 チャリティイベントへの参加による生活困窮者のための支援(イギリス) P.60 クリスマス慈善活動によるフードバンクへの食品寄贈(アメリカ) 住居の建築・修繕活動による国際支援団体への協力(アメリカ)
青少年育成	少年少女発明クラブへの支援(夏休みみのづくり講座、手作り風揚げ大会など) 工場を利用した小学生向け環境教育プログラムの実施 小学校訪問ミニコンサートの実施 P.59 中学生職場体験学習の受け入れ 支援団体を通じた部落社会への教育支援(インド)
環境保全	県有林の保全を目的とした間伐活動、間伐材を利用したベンチの作製・寄付 自然林の再生を目的とした植林活動 イベント参加や資金協力による環境フェスティバルへの支援(スウェーデン) パバンダヤン山での植林活動(インドネシア) P.60 環境保全への意識啓発と世界環境デー PR活動(中国)
地域貢献	地域伝統文化行事への参加 工場周辺道路の環境美化活動 交通安全啓発活動 防犯パトロール ハイウェイの清掃活動(アメリカ) P.60 空調機のメンテナンス技術指導セミナーの開催(インドネシア) ペットボトルキャップの回収、換金による地域病院への寄付(スペイン) スポンサー企業としての地域のスポーツ大会への賞品提供(インド)
その他	当社主催チャリティコンサートの開催 書き損じはがきなど収集ボランティアによる国際NGOの支援 各工場での定期的な献血活動

(国名の記載がない項目は日本での活動)



小学校訪問ミニコンサート

## 当社の活動事例(日本)

### 小学校訪問ミニコンサートの開催

当社は、2010年度から、当工場が所在する地域の小学生を対象に、世界で活躍する演奏家によるコンサートを開催しています。2012年度からは、東日本大震災で被災した小学校での訪問ミニコンサートも開始しました。

この演奏会は、学校の体育館や教室で音楽の授業の一環として行われ、一流の演奏家による生の演奏を目の前で聴くことができます。楽器の持つ音色や響き、演奏家の息づかいや想いを

身体いっぱいと感じ、心豊かな人間に成長してほしいとの願いを込めて企画しています。

これまでに延べ50校、8千人以上の小学生がコンサートに参加しています。

#### 参加した小学生の感想

- ・ CDでしか聴いたことのなかったヴァイオリンを直接見たり、聴いたりできて嬉しかった
- ・ 1曲聴くたびに心がゾーンとして気持ちが悪くなった
- ・ すばらしい演奏に心を打たれ、自分も努力を重ねて、夢を叶えたいと強く思った など

### ■ 小学校訪問ミニコンサートへの参加人数

実施地域	年度	2010	2011	2012	2013	2014	合計(人)	学校数[延べ] (校)
愛知県 大府市・高浜市		1,170	1,846	1,195	1,865	1,173	7,249	34
岩手県 陸前高田市・大船戸市		-	-	243	524	720	1,487	16
合計		1,170	1,846	1,438	2,389	1,893	8,736	50

## 「管理技術」

当社では、大切にしたい考え方・価値観を共有し、問題解決力の向上をはかるため、事務職・技術職を対象に「仕事の仕方(問題解決)研修」を実施しています。また、海外拠点に対しても、人事担当者を集めた「グローバル人事会議」の開催や、国内と同じ研修の展開を行っており、グループ全体での共有をはかっています。



グローバル人事会議

## 「和の心」

一人ひとりがやる気に満ち溢れ、個の力と組織の力が最大発揮される明るく元気で面倒見の良い職場づくりを推進しています。仕事の中でのコミュニケーションにとどまらず、職場ごとの親睦会、事業部ごとの運動会・夏祭り、当社グループ会社と合同で行う駅伝大会・カンパニースポーツの応援などのコミュニケーション施策を進めています。

## 多様な人材が活躍できる職場環境の整備

当社では、多様な人材が持てる力を十分に発揮できる職場環境を整えるため、女性の活躍推進、障がい者の雇用、高齢者が活躍できる環境整備などに取り組んでいます。

## 女性の活躍推進

当社では、「仕事と家庭の両立支援」「キャリア開発支援」「風土・意識改革」を柱に女性の活躍を推進しています。

また、2014年12月に設立された「一般財団法人トヨタ女

### ■ 女性活躍推進の取り組み

～2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
<b>仕事と家庭の両立支援制度の充実</b> ・「育児休暇」期間延長 ・「子の看護のための公休制度」導入 ・事業所内託児所設置 ・「育児のための短時間勤務制度」導入 ・「ウェルカムバック制度*」導入 ・在宅勤務制度導入(14/4～)							
<b>風土醸成</b> ・ダイバシティNavi(社内HP)開設 ・両立経験者との交流会/講演会開催							
<b>女性比率の拡大</b> ・女性総合職採用開始(技術1986年、事務1996年) ・理系女性向けセミナー ・機械・電気・情報以外の学科からの採用拡大							
<b>キャリア意識の向上</b> ・女性係長職およびその上司への個別ヒアリング ・個別育成計画の立案 ・海外研修生派遣							

\*：一定の条件下での復職が可能となる制度。

## 連結子会社の活動事例（海外）

### 中国 障がい者用車椅子の寄贈

烟台首鋼豊田工業空調圧縮機有限公司 (YST)  
カーエアコン用コンプレッサーの生産会社

YSTは、2014年12月、従業員の募金により集まったお金で車椅子を購入し、国際障がい者デーに合わせて地元の福祉施設へ寄贈しました。2012年の会社設立より今回で3回目となるこの活動は、地元でも高く評価され、テレビや新聞でも報道されました。



地元の福祉施設への車椅子寄贈

### インドネシア 環境保全のための植林活動を実施

ティーディー オートモーティブ コンプレッサー インドネシア(株) (TACI)  
カーエアコン用コンプレッサーの生産会社

TACIでは、環境保全のための植林活動を毎年行っています。2014年は、インドネシアの独立記念日である8月17日に、標高2,665メートルのパパンダヤン山で植林活動を実施し、同社の従業員50人が参加しました。

また、工場のあるブカシ地域の小中学校への樹木の寄付も行いました。



植林活動に参加した従業員

### イギリス 生活困窮者のための支援

トヨタ マテリアル ハンドリング UK(株) (TMHUK)  
産業車両の販売会社

TMHUKは、2015年3月、イギリス国内のトヨタグループ各社とともに、イギリスの慈善団体コミック・リリーフが主催するチャリティイベント“レッド・ノーズ・デー\*”に協力し、募金活動を行いました。イベントのシンボルである赤い鼻をつけ、「楽しんでお金を集めよう」との合言葉のもと行われた活動の様子が、特別番組としてテレビで放送されました。

\*：協力者は、赤い鼻を1つ1ポンドで購入し、それを身につけてイベントに参加。収益金は、イギリスやアフリカで貧困に苦しむ人々のための支援金とされる。



募金活動を行った従業員

### アメリカ ハイウェイの清掃活動を実施

ミシガン オートモーティブ コンプレッサー (株)(MACI)  
カーエアコン用コンプレッサーの生産会社

MACIは、市民と行政が協力で進める街の美化活動の一貫として、2014年4月と9月に、ジャクソン郡を走るハイウェイの清掃を行いました。約20人の参加者は、行政から支給された蛍光色の安全ベストを着用し、2時間にわたり道路の美化活動に励みました。



清掃活動を行う従業員